

■地域発展の基盤を支える河川事業
徳島県 土井谷川 総合流域防災事業

徳島県西部総合県民局
県土整備部 (美馬庁舎)

副部長 おおにし たかし
大西 孝司



一級河川土井谷川は、徳島県の西部に位置し、中世から江戸期にかけて”阿波藍”商人の町として栄えた美馬市脇町の平野部を流れる、流路延長約1.8km、流域面積は約4.22km²の河川です。流末は、四国三郎で名高い日本三大暴れ川の1つである一級河川吉野川へ流れ込んでいます。

流域の下流部では水田や畑に利用されており、豊かな自然環境に恵まれ、上流部では幹線道路である主要地方道鳴門池田線沿いに商業施設や住宅地が広がっています。

現在、土井谷川の下流部では鳴門池田線のバイパス工事が進められており、今後ますます発展することが期待されています。一方で、本河川は河川断面が小さく流下能力が不足していることから、たびたび氾濫を繰り返しており、平成16年の台風23号による床上浸水41戸、床下浸水41戸などの甚大な被害をはじめ、近年においても平成23年の台風15号や平成26年の台風12号により浸水被害が発生しています。

このため、平成28年度には国が進めていた吉野川の築堤工事「吉野川・脇町第一箇所」が完成し、吉野川本川の洪水に対する安全度が向上したことを踏まえ、徳島県では平成29年度に総合流域防災事業として土井谷川の河川改修事業に着手しました。この事業は流下能力を現在の約3倍に向上させるものであり、浸水被害の軽減につながります。

今後とも、地元美馬市をはじめとする関係機関と連携し、早期に地域の皆様が安全・安心な生活環境を確保できるよう、努めてまいります。



■土井谷川流域における浸水被害の早期解消に向けて

美馬市長 ふじた もとほる
藤田 元治



美馬市は、徳島県の西部に位置し、平成17年3月1日、当時の美馬郡内の脇町、美馬町、穴吹町、木屋平村が合併し誕生しました。

市の中央付近を、暴れ川として名を馳せる四国三郎「吉野川」が西から東へ流れており、その両岸にある讃岐山脈と、四国山地からは、曾江谷川や穴吹川など数多くの中流河川が流れ込むとともに、沿岸は可住地となる平野部が形成しております。

このうち、市内の東部を流れる土井谷川の流域は、吉野川との合流部が無堤地区（脇町第1箇所）であったことから、長年にわたっては氾濫が発生し、地元住民は洪水に悩まされて参りました。

近年においても、「災いの年」と言われる平成16年には、台風23号によって床上浸水41戸、床下浸水41戸など甚大な被害が生じ、以降も平成23年、平成26年と大型台風の度に水害が繰り返されておりましたが、国土交通省による堤防整備により、平成29年2月の締め切り工事が完成し、翌年の「平成30年7月豪雨」では家屋への浸水被害が回避されました。

こうした吉野川での治水安全度の向上を踏まえ、平成29年度からは徳島県による土井谷川の河川改修事業が新規着手され、これまでの川幅を約3倍にする河道拡幅工事にに向けた調査・設計が開始されているところであります。

そこで、今後は、徳島県による土井谷川の河川整備により、さらなる治水効果が図られるよう、市としても用地取得や地元調整などに協力して参りたいと考えています。



堤防工事が完了した脇町第1箇所



河川整備が進められる土井谷川